

ふきのとう 文庫だより

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

HSK通巻番号532号

発行 平成28年7月10日

毎月10日発行 一部100円

編集 〒060-0006

札幌市中央区北6条西12丁目8番3

公益財団法人ふきのとう文庫

電話 (011) 222-4839

FAX (011) 222-4800

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

細川久美子

明日へ羽ばたくふきのとう文庫へ

公益財団法人 ふきのとう文庫 評議員 井筒 和幸

ふきのとう文庫との出会いを思い返しています。今は亡くなられた文庫理事の前東先生が「ピアノが有れば、子どもたちと歌ったりコンサートも出来るのだが」と。先生とは昔、厚別の子どもの施設にピアノを寄贈した時からのお付き合いです。その後もコンサート会場で時々お会いしていて、その時にふと漏らした言葉でした。私のコレクションの一台をプレゼントすることになりました。「子ども催事うたう会」などで活躍しているあのピアノです。日本全国に三十数社のピアノメーカーが健在だった良き時代の優れたピアノの一つです。

ベルトーンピアノ。沢山清十郎設計、レオニード・クロイツァー監修、富士楽器製作所によるものです。ミュージックワイヤーはドイツ・レスロー社、アクシオンハンマーはドイツ・レンナー社、鍵盤は象牙と贅沢に作られています。そんなことが有った後、評議員のお話が有りお受けすることとなりました。

私の職業はピアノ調律師です。調律の他、百年、百五十年前のピアノやオルガンの修復を仕事としています。また「さわれる楽器博物館」も主宰しています。八百点ほどの世界の楽器を保有し全国へ楽器博物館を出前しています。札幌では「コンサートホール・きたら」で例年五月の連休に開催し、今年は五千六百人の来館者を得ました。

ふきのとう文庫でも移転前の平和で「さわれる楽器博物館」を催しました。乗用車に積み込める小型の楽器二百点ほどの展示でしたが、遠方から来て下さった

方もいて随分喜ばれました。

手作り遊び「弦楽器を作ろう」は定員二十五組の親子がマイ・ギター作りに挑戦しました。その時の楽器が今でも本棚に置かれていて子どもたちに人気です。

去年は文庫初のコンサートを企画しました。明楽みゆきさんを迎えてのチェンバロコンサートです。親子六十名を超える聴衆が初めて聴くチェンバロの優雅な響きを堪能しました。

来る八月二十八日(日)には「世界の笛とラッパ大集合」をふきのとう文庫多目的ホールで開催します。管楽器二百点ほどを出品します。親子で共に手に取り、音が出るかチャレンジしてみてください。ストローで作ったオーボエの演奏コンクールも企画しています。家族で是非お楽しみください。

ふきのとう文庫を構成するキーワードを挙げると「すべての子どもに本の喜びを」「在宅障がい児に家庭配本」「全盲のこどもの絵本」「ボランティア」「弱視の子どもたちへの拡大写本」「病院文庫」「視障がいのある子どもたちのための布の絵本」「障がいや病気のある子どもたちのための図書文化発信地」。

これらは、ふきのとう文庫ならではの優れた事業です。障がいを持つ人とそうでない人のバリアフリーな空間創りが、ふきのとう文庫を際立たせています。また、来館者は学齢前の子どもを持つ若い家族も多く、私たちの地域や国の明日を担う次世代です。頼もしいかぎりです。私は楽器と音楽を通して微力ですが文庫の活動を応援したいと思っています。

平成二十七年 決算・事業報告

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで（単位 円）

科目	金額	
I. 増加原因の部		
資産増加額		
賛助会員収入	2,968,700	
寄付金	2,422,761	
助成金収入	1,750,000	
事業収入	2,907,305	
雑収入	1,638	
受贈益	476,000	
増加額合計		10,526,404
II. 減少原因の部		
事業費	3,565,166	
管理費	5,902,871	
基本財産建物原価償却額	5,365,662	
その他固定資産原価償却額	495,329	
減少額合計		15,329,028
当期正味財産減少額		4,802,624
前期正味財産額		197,072,274
期末正味財産合計額		192,269,650

財産目録

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで（単位 円）

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金手元有高	57,759	
普通預金	1,989,704	
振替貯金	842,647	
売掛金	75,910	
流動資産合計		2,966,020
2. 固定資産		
①基本財産	165,351,749	
②その他固定資産	24,421,469	
固定資産合計		189,773,218
資産合計		192,739,238
II. 負債の部		
未払い金	270,588	
仮受金	199,000	
負債の部合計		469,588
III. 正味財産	192,269,650	192,269,650
負債及び正味財産合計		192,739,238

決算報告

新築二年目も初年度の勢いをかり、事業結果及び収支についても前年に匹敵する成果を収めることが出来ました。

収入面では、安倍首相の夫人が理事長を務め、社会貢献支援財団に当文庫の業績が認められ、昨年十一月に文庫の四人が帝国ホテルの式典に招かれ、副賞として五十万円を贈与されました。

もちろん五十万円は非常に助かる助成金でありますが、当文庫が社会貢献をしているということが公に認められたことに、改めて身の引き締まる思いをさせられました。

二年目のシンクスも無事クリア出来、さらなる賛助会員の増員に向けて努力をしてまいります。

常に年五十万円程度の新たな助成金が必要であり、その獲得に向けて多方面に目を配ってまいります。現在最大の関心事は大幅な増加が見られていない来館者数で、新たな来館者を求めて賛助会員増員を含め、皆様方のご支援をお願い申し上げるところでございます。

事業報告

一、子ども図書館の運営

- ①開館日数 二〇三日
- ②入館者数 九、三六九人
- ③登録者数 一、八三八名（新規登録者五六四名）
- ④貸出し件数 図書 二二、七七五冊

（紙芝居 八〇二を含む）

二、病院文庫の拡充

- ①北大病院文庫
- ②KKR（産科）

拡大写本 一九三冊
新規購入 一八八冊
紙芝居 三六冊
寄贈図書 一〇九冊

〇冊
七冊（貸出し）

（紙芝居二冊）

井筒和幸さんプロフィール

1947年生まれ、札幌市出身
井筒ピアノ調律師所・工房代表
「さわれる楽器博物館」主宰
調律師「若い芽の会」代表
日本リードオルガン協会会員
（社）日本ピアノ調律師協会会員
ピアノ調律の他、古いピアノ、オルガン等、鍵盤楽器の修理修復に携わる。

800点ほどの世界の楽器を保有し、移動博物館を全国に出前している。

平成17年よりふきのとう文庫評議員



『おののだ眼科・若者白書二〇一六』に ふきのとう文庫の記事掲載される

柿崎北海道大学名誉教授の代表で「さつぽろ子ども・若者白書」をつくる会が組織され、会のメンバーの多大な努力の下、二〇一六年四月、その第一号が発刊されました。（販売価格千五百円）

内容は、子どもをめぐる活動に留まらず若者にまで視野を広げたのが特徴で、札幌市を拠点に活動している人々約百三十人の報告を集録したものです。

当図書館もその中に組み込まれ、高倉代表理事の執筆による紹介記事が、「子どもと地域」の章の「子ども文化」の節に掲載されております。

活動の横のつながりをつくっていくうえで大変貴重な出版物です。
（高倉 記）

病院文庫の活動

KKR医療センターのプレイルームより



KKRでは保育士さんがふきのとう文庫の布の本や絵本を入院中の子どもの心の支えとして活用されています。

③ おのだ眼科

④ 天使病院

三、布の本の製作・貸出し

① 製作

布の本
材料セット
遊具・タペストリー
二、〇一一点
六八六冊
七七種類
一八冊
三五六セット
三八三冊
六七二点

② 貸出し

遊具・タペストリー
布の本
テキスト
材料セット
遊具
KKR医療センター・北大病院・
おのだ眼科

③ 販売

KKR医療センター・北大病院・
おのだ眼科

④ 寄贈

KKR医療センター・北大病院・
おのだ眼科

⑤ 講習会開催

8/9 旭川大学
11/14 旭川市中央図書館 一三名

⑥ 展示会（多目的ホール開催）

平成二十七年六月十四日～十七日
布の本・布おもちゃで遊ぼう 一六五名
平成二十七年十一月二十二日～二十五日
木育ひろば in ふきのとう文庫 三〇三名
平成二十八年二月十四日～十七日
二周年記念 布の本・拡大写本展 一八一名

⑦ 外部イベント参加

7/26 視覚支援学校・学校祭
8/2～4 子どもの本ブックフェア
8/5 おもちゃの広場
10/18 旭川おもちゃ博
12/16・18 北斗高校授業

四、拡大写本の製作

① 製本 児童図書

拡大漢字本

② 拡大写本リスト

配本先 中央小学校 ひとみの教室
札幌盲学校・旭川盲学校 約五五冊
NPO法人「弱視」の子どもたちに、絵本を
貸出し 大分ブックイベント 六冊
北斗高校 八冊
旭川おもちゃ博 七冊
大磯マサエさん 一一冊

被災地支援

福島県本宮市しらさわ夢図書館 計 四七冊
JB BY 攪上さんへ 計 四〇冊
二九種類 七八冊
四種類 四二冊
三三種類 一二〇冊
販売数 一五冊

③ 新作拡大本
赤レンガライオンズクラブ製作寄贈分

被災地支援 福島県本宮市しらさわ夢図書館 計 四七冊
JB BY 攪上さんへ 計 四〇冊
二九種類 七八冊
四種類 四二冊
三三種類 一二〇冊
販売数 一五冊

④ 拡大漢字本

七月、十一月、三月に三回、各二千五百部ずつ発行

五、機関誌の発行

七月、十一月、三月に三回、各二千五百部ずつ発行

④ 拡大漢字本

七月、十一月、三月に三回、各二千五百部ずつ発行

六、子ども催事

おはなしの会 年十四回開催 三三四人参加
うたう会 年九回開催 二六五人参加
手づくりあそび 年三回開催 五一組参加
人形劇 年一回開催 八四人参加
チェンバロ演奏会 年一回開催 六三人参加

七、ふきのとう文庫利用者数

年間目標 一五、一七六人に対し実績は
一一、九四四人 達成率七八・七%

七、ふきのとう文庫利用者数

年間目標 一五、一七六人に対し実績は
一一、九四四人 達成率七八・七%

布グループの活動

今年度最初の展示会は六月五日～八日「布のおもちゃ・絵本であそぼう」、十二日～十五日「布の本・タペストリーの展示」と二週間に渡り行ないました。パネルシアター「三びきのこぶた」、大型絵本「サンドイッチ・サンドイッチ」など読みきかせも行われ、後半は札幌国際大学、北翔大学の学生さんも訪れ、作品のすばらしさに感動していました。（岡田 記）



大型絵本「サンドイッチ・サンドイッチ」



展示会のスペシャルな空間



保育園のお友達。みんなリュックの中身はなあに？



パネルシアターは「ごちゃまぜカメレオン」

心をこめた あの世界 この作品

布の本を手にした方が必ず驚いて「わあーすごい。とてもいいねい」と、ため息とともに言われます。その技術の高さは常に「よいものを作りたい」という布ボランティアさんの心がけに裏打ちされています。そんな「作り手」さんの心をこめた作品を紹介します。まずは「ななつの子」と「ちようちよう」です。

思い出多い「ななつの子」

渡邊 ミエ

「ななつの子」のテキスト発行が、一九九二年ですので、一九九一年の頃と思います。

元文庫デザイナーの上野さんより試作をとられ、孫達が歌って居た歌の、布の本の製作をさせて頂けるなんて、私にとって、とても嬉しい事でした。

型紙を頂いて、未だ布の本作りに入って十年少々の時でしたので、上野さんにご指導頂きながら、一気に仕上げました。親がらすのおおしき、子がらすの可愛らしさに、みいらされてしまいました。

親がらすが、山のふもとに居る子がらすのことを思い、山を越え枝に作った巣に、えさを運んで居る姿、子がらすにリンゴを食べさせて居る姿、子がらすが七羽も入って居る大きな巣、可愛い布の本でした。

私が今迄元気でいられるのも、布の本の、お手伝いをさせて頂いている由、一日でも長く作らせて頂き度く思っております。布の本そのものが、私の健康とやすらぎです。



思わずマスコットにしたくなるような子がらすは、お子さんの夢を一段とふくらませるでしょう

活動を通して ちようちようグループ

平和地区のお母さんが、小さな子どもをつれて文庫で遊ばせながら始めた布の本（絵本）作り。先輩に縫い方を教わりながら製作した「ちようちよう」。この記念の一作品の完成がグループ「ちようちよう」の誕生の源です。世界のバリアフリー展で「さわる絵本」の部門に選ばれました。その後「ビーだまいくつ」「いないいないばあ」など数多く手がけました。



生まれたばかりの蝶が、仲間を探して出合いを体験して行くお話です。

医学生によるクラシック演奏会（アンサンブル・フラテ）

—医大生の演奏会を終えて—

子ども催事係 斉藤 迪子

“子どもたちに身近で美しい音楽を聴かせたい”と、このことが脳裏から離れることなく、いつもアンテナを張り巡らせ、そのアンテナでキャッチしたのが5月29日の子ども催事「医大生有志によるアンサンブル」です。

この医大生のサークルは、病院で日々病氣と闘う患者さんたちを音楽の力をとおして、少しでも慰め、励まし、元気づけられればという思いのもとに北海道大学医学部学生を中心にアンサンブルを組み、ボランティア演奏活動を行っているグループです。このグループの皆さんは幼少期からピアノ、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、歌、等々の演奏に習熟し、プロ級の腕前です。とくに代表の川村哲也さんはPMF2016に初参加し、現代最高のヴァイオリニストのひとりであるレオニダス・カヴァコスとの共演をキタラホール・サントリーホールで演奏されます。

その、心の琴線に触れる演奏を聴く機会があり、ぜひ子どもたちにも聴かせたいと思いました。すぐさま、代表と会い、その旨を話したところ即座に快諾をいただき、子ども催事の行事に組み入れることが出来ました。

演奏会までの数回の打ち合わせの中で、子どもたちを美しい音楽で楽しませてほしいこと、一緒に童謡を歌ってほしいこと、当日の楽器、曲の説明をしてほしいこと、数種類の弦楽器に触れて音の違い等を実感させてほしいこと等々をお願いいたしました。

当日は、演奏者の皆さんが、創意工夫を凝らして下さったおかげもあり、赤ちゃんを含めた子どもたちは、予期した以上に目を輝かせ、全身でリズムを感じ取り、1時間余にわたって楽しんでいました。すべての演奏が終わって拍手が鳴りやまず、アンコール曲《となりのトトロ》の挿入歌「さんぽ」を会場の皆さんと一緒に歌いました。子どもたちは、演奏会が終わってもその場を離れず、演奏者のそばに寄り添って楽器を触ったり、質問をしたりと、有意義なひとときを過ごしたようです。

今後も、幼児期から身近に美しい音楽に触れる事が、美しく楽しい生活の土台作りになることを願ってやみません。



ヴァイオリンに触っちゃった。



身近な生演奏に“わくわく”



ヴァイオリンの二重奏、すごい!!

今日の演奏会はヴァイオリンでビバルディの「四季」より「春」の演奏で始まりました。心地良い時間が流れていきます。赤ちゃんも静かに聞いていました。うたでは、金子みすゞ「つゆ」「こだまでしょうか」の2曲です。続いてヴァイオリンの弾き方も教えてくれました。みんな興味津々です。さいごに体を動かしながら楽しく歌いました。学生さん達は、この日のためにかぶり物を用意し、子どもたちのハートを、わしづかみにしてくれました。

(岡田 記)



人形劇団「ひよっこ」公演（6／26）



6月26日（日）毎年恒例の人形劇団「ひよっこ」の公演が行われました。「ひよっこ」は創立60周年になる人形劇団です。当日は、大人41名・子ども39名で、多目的ホールに入りきれないほどの皆さんが来てくれました。

(岡田 記)



「だるまちゃん」と「てんぐちゃん」



パネルシアター「八百屋のお店」



「ふくろうのそめものや」

拡大写本グループの活動

「札幌赤レンガ ライオンズクラブ」へ

感謝状

拡大写本グループ 山本淳子
平成二十七年年度拡大写本への製
本費用の寄贈を今回も札幌赤レン
ガクラブ様よりいただきました。こ
の寄附により左記の七冊の本（六
セット・四十二冊）を製本し、当文
庫の蔵書とする他、四校の視覚支援
学校に寄贈することができました。

一、メッシ・ハンディをのりこ
えたヒーロー（全三冊）
二、雨ぬらしぬまがたいへん
だ！

三、うつほほーいの話（全二冊）
四、お月さまをめざして

また、四月二十六日、同クラブの
例会に於いて、拡大本寄贈に対する
お礼の感謝状を、お渡ししました。
クラブ員の皆様との懇談会では弱
視の子ども達、とりわけ熊本地震で
被災した子供達への関心を向けて
くださり、私達の、支援校への活動
の大切さをご理解いただくことが
できました。

ありがとうございました。



きみの友だち

重松 清 作

“「友だち」って何？”を考えさせてくれる本。
「いなくなっても一生忘れない友達が、一人いればいい」
「わたしは『みんな』って嫌いだから、『みんな』が『みんな』でいるうちは、
友だちじゃない。絶対に」
このことばが意味するものは……。
読後のさわやかな余韻を楽しんでみませんか？



ふしぎな駄菓子屋 銭天堂（全3冊）

廣嶋 玲子 作 jyajya 絵

駄菓子屋の女主人“紅子”が売るふしぎな駄菓子。
買ったお客さんには思いもよらぬできごとが…。
ワクワクドキドキのふしぎなお話が続々。
紅子さんが巻き起こすシュールな世界を楽しんでみませんか？



ベロ出しチョンマ（全2冊）

斉藤 隆介 作 滝平 二郎 絵



学校の怪談 1～7巻 各3冊

リクエストが多かった作品です。お待たせしました！

新しい拡大写本できました

子ども催事 28年度下半期日程表			
10月 9日（日）13時30分～「うたう会」	1月 8日（日）13時30分～「うたう会」		
16日（日）13時30分～「おはなしの会」	15日（日）13時30分～「おはなしの会」		
30日（日）13時30分～「てづくりあそび」	2月12日（日）13時30分～「うたう会」		
11月 6日（日）13時30分～「うたう会」	19日（日）～29日（水）	布の本・拡大写本展示会	
20日（日）13時30分～「おはなしの会」	26日（日）13時30分～「おはなしの会」		
27日（日）～30日（水）10時～15時	3月12日（日）13時30分～「うたう会」		
木育ひろば・布の本・布の遊具	19日（日）13時30分～「おはなしの会」		
12月11日（日）13時30分～「うたう会」	26日（日）13時30分～「てづくりあそび」		
18日（日）13時30分～「おはなしの会」			
25日（日）11時30分～12時			
「クリスマス会」			

—— 布の本テキスト・材料セット価格表 ——

平成26年4月より下記のように変更になりました。

No	布の絵本	テキストの価格	材料セットの価格	No	布の絵本	テキストの価格	材料セットの価格	No	布の絵本	テキストの価格	材料セットの価格
1	新ドレミのうた	なし	5,000	13	だれのうち	1,000	3,300		どんぐりころころ	なし	4,300
2	しかく	なし	なし	14	Greeting	1,000	3,000		おむすびころりん	なし	5,500
3	ひよこひよこ	なし	6,000		おやつ		1,700	遊具	ジャンケンサイコロ	なし	600
4	ちえあそび	なし	4,500	15	おかあさん	1,000	3,000		どうぶつとなかよし	なし	1,600
5	ビーだまいくつ	なし	販売終了		どうぶつ		1,800		おいしいね!	なし	1,600
7	ハイキング	なし	販売終了	16	まる	1,000	3,300		おはな	なし	1,600
8	ななつのこ	無料提供	4,000		むし		2,200		おやつはなあに?	なし	1,600
9	うたのえほん	無料提供	販売終了	17	ちいさいおおきい	1,000	3,000		のりたいな	なし	1,600
10	おはなしのえほん	無料提供	販売終了		さかな		1,700		うみのともだち	なし	1,600
11	かくれんぼだあれ	1,000	7,500	18	いないいないばあ	販売中止	販売中止		とりのなかま	なし	1,600
12	MY BOOK	1,000	3,300		わっ!		1,700		どうぶつだいすき	なし	1,600
	このいろなあに		3,800		みにくいあひるのこ	なし	5,800		とり	なし	1,600
13	のりもの	1,000	1,600		ちょうちょう	なし	5,000	材料セットには作り方説明書を同封しています。			

諸事情により「いないいないばあ」の販売を中止しています。オリジナルの新作を2月の展示会で発表しました。



オストメイト用の設備を
備えています

当文庫には、オストメイト装備のトイレがあります。

リオ・オリンピックを控えている、この時期に、タイムリーな児童書が寄贈されました。日本オリンピック・アカデミー編による「ほんとうにあったオリンピック・クストーリーーズ」(講談社 青い鳥文庫)です。この本の中の「はるかなるオリンピック」は、当文庫評議員の水口 忠さん(元・余市図書館長)が執筆されています。

昭和十五年に開催予定だった札幌オリンピックで、スキージャンプと複合スキーの候補に選ばれていた久保登喜夫さんのお話です。

戦争のために、この札幌オリンピックは中止になってしまい、出場の機会は、ないまま特攻隊員として昭和二十年四月二十八日、戦死されたのです。

水口さんは、この久保選手と自宅が隣同志だったという縁から、この作品を執筆されました。

(林 記)

寄贈された本の紹介

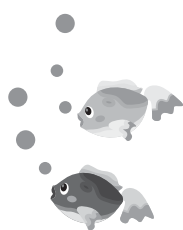
あとがき

スポーツで気持ちのよい汗を流したあとは、心に音楽の潤いをあげましょう。今号は、巻頭言を楽器の世界の視点から、そして館内活動では音楽イベントをプロデュースした立場から、子どもたちの感性が豊かに育つことを願って書いていただきました。

ふきのとう文庫を支えているのは、競うことではない、豊かな心を育みたいという思いです。

それでは、一〇九号は、おいとまします。

(林 記)



編集 公益財団法人ふきのとう文庫
代表理事 高 倉 嗣 昌

〒060-0006 札幌市中央区北 6 条西12丁目 8

☎ 011-222-4839 FAX 011-222-4800

http://www.fukinotou.org

E-mail:fukinotoubunko@ceres.ocn.ne.jp

平成28年7月10日 発行

毎月10日発行一部100円(維持会費に含む)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可

HSK 通巻532号

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

細 川 久美子

郵便振替=02720-3-2300 銀行口座=北洋銀行本店営業部普通預金 0035764 公益財団法人ふきのとう文庫

この機関誌は、“北海道共同募金会の配分”により刊行しています。
維持会員・寄付者のみなさん、ありがとうございました。